

# 「平成27年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 28 年 6 月 10 日

仕事の内容	図書館維持管理事業			
担当部署・課長名	中央図書館	課	管理	係 課長名 當摩 弘

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 生涯学習の充実

(総合計画書 35 ページ)

予算名	款 10 教育費	項 4 社会教育費	目 3 図書館費	事業 1 中央図書館管理費
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	図書館利用者 →			中央図書館利用者数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
	利用者が安全・快適に施設を利用できるようにする。 →			不具合箇所の修繕等の件数
③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)	
①施設内外の点検・確認(照明・窓・雨漏り等) ②業者に点検委託(自動ドア、冷暖房、エレベーター等) ③工事・修繕 →			①開館日276日 ②毎月、3か月に一度等の点検(54回) ③17件	

2 指標の推移		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度目標	平成29年度目標
	対象指標	①の数値	人	111,014	119,328	120,383	
	成果指標	②の数値	件	13	12	17	
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方	—				
活動指標	③の数値	回	347	346	347		

3 経費	事業費		円	407,850	713,944	14,074,140	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,233,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成26年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円			10,774,140	
		特定財源	円			3,300,000	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.5	1.5	1.5	
		所要人数(再任用)	人		0.5		
		職員人件費(再任用以外)	円	12,510,000	12,447,000	12,349,500	
職員人件費(再任用)	円		1,461,000				
事業費+人件費		円	12,917,850	14,621,944	26,423,640		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和59年4月15日、東大和市立中央図書館開館。</li> <li>図書館利用者が安全、快適に利用できるように施設の維持管理をする。</li> </ul>	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 開館後31年以上が経過して、施設全体の老朽化が進んでおり、設備や備品等の破損・故障が頻繁に起きている。優先順位を決め、修繕費等を計上しているが、部品の供給期限が過ぎており、見積を取ることも自体が難しくなっている。	

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成27年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>だれでもトイレにウォシュレット、温便座を設備してほしい。</li> <li>バイク置き場を広げてほしい等の要望があった。</li> </ul>	

仕 事 の 内 容	図書館維持管理事業					
担当部署・課長名	中央図書館	課	管理	係	課長名	當摩 弘

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)		
	取組みは無い	取組手法 ⑦ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )	
(2)平成28年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。			
7 課題	この仕事を振り返り、課題を記入してください。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガラス窓の継ぎ目から、窓際に置いたタオルがびしょ濡れになるほど、雨水が館内に浸透してしまう。</li> <li>・施設や備品の修繕を計画的に実施してこなかったため、ほとんどの所に修繕が必要となっている。</li> <li>・建物全体が外の明るさを取り入れる設計になっているため、天候が良い日は明るい、雨の日等は照明をつけても暗い。</li> </ul>		
8 今後の方向性	(1) 仕事の方向性(「7 課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門機関に相談し、施設、備品等の修繕計画を作成する必要がある。</li> </ul>		
	(2) 上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的に記入してください。		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・まず、市建築課に相談し、施設・備品等の修繕計画策定に向けた課題の整理を行う。</li> <li>・専門機関から見積もりをとり、緊急性の高いものから実施計画に上げて予算計上し、施設の長寿命化を図っていく。</li> </ul>			
(3) 改革・改善案による期待成果			
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成 果	成果を向上させる。	経 費	仕事の経費は維持する。